

今日のキーワード 注目される『自動車部品』企業の再編の動向

自動運転や電動化といった次世代技術開発を巡るM&A（合併・買収）など再編の動きは欧米の『自動車部品』大手企業が先行していました。しかし、ここに来て国内の『自動車部品』企業もそうした動きが活発になってきました。次世代自動車開発を巡る競争は、国境や業種の垣根を越えた企業連合の総力戦の様相を呈しています。国内の『自動車部品』企業の再編もこれから本番とみられ、今後の動向が注目されます。

ポイント1

国内の『自動車部品』企業の再編が活発化

次世代技術開発が進む中、生き残りへの強い危機感が背景

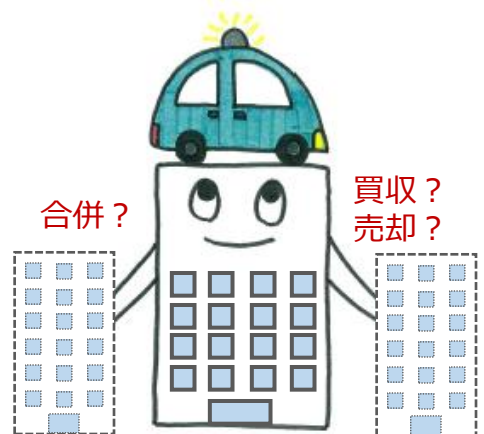
- 自動運転や電動化といった次世代技術開発を巡るM&Aなど再編への取り組みは、欧米の『自動車部品』大手企業が先行していましたが、国内の『自動車部品』企業もここに来て動きが活発になってきました。
- この背景には、次世代技術の研究開発に多額の資金や多様な技術を要することがあります。また、電気自動車では不要となるエンジンや排気関連の『自動車部品』企業の生き残りへの強い危機感があります。

ポイント2

カルソニックカンセイは大型買収

日立製作所は『自動車部品』子会社を売却

- 10月22日、『自動車部品』大手のカルソニックカンセイは、欧米フィアット・クライスラー・オートモービルズ（FCA）の『自動車部品』部門のマニエッティ・マレリの買収を発表しました。買収金額は約8,000億円の大型買収となりました。同社は日産自動車の系列解消に伴い米投資ファンドの傘下に入りました。エンジン回りの部品が中心でしたが、次世代製品の開発に力を入れてきました。今回の統合により、『自動車部品』の総合企業として生き残りを目指します。
- 10月26日には、日立製作所がカーナビゲーションシステムなどを手がける『自動車部品』子会社のクラリオンを、仏『自動車部品』大手のフォルクスワーゲンに売却すると発表しました。同システムは競争が激化しておりクラリオンを売却することで、日立製作所は重点分野の自動車事業において自動運転の制御などの分野に集中する方針です。



今後の展開

『自動車部品』企業の再編の動向が注目される

- トヨタ自動車とソフトバンクグループは10月4日に、自動運転など移動サービスで戦略的提携に合意しました。このような提携にみられるように、次世代自動車開発は、国境や業種の垣根を越えた企業連合の総力戦となっています。こうした状況の中で『自動車部品』企業の再編は、これから本番とみられ動向が注目されます。

※個別銘柄に言及していますが、当該銘柄を推奨するものではありません。

ここも チェック!

2018年11月5日 新たな『モビリティサービス』への戦略的提携
2018年 9月5日 『自動運転車』で新たな動き

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。